

平成29年度 地域福祉研修

地域福祉に関心のあるすべての社会福祉従事者が、地域との協働や地域へのアプローチに向けた基本的な知識とスキルを学ぶ研修です。

こんな方におすすめです

- ☑ 地域福祉を基礎から学びたい
- ☑ 地域へのアプローチの基本を学びたい
- ☑ 地域公益活動を進めるためのヒントを得たい
- ☑ 地域ニーズの把握方法が知りたい
- ☑ これからの実践の幅を広げたい！



日時

- 第1回：8月1日(火)
第2回：8月2日(水)
第3回：9月22日(金)
第4回：10月27日(金)
(各回 10:20~16:30)

会場

兵庫県社会福祉研修所 3階 中研修室2
(神戸市中央区中山手通 6-1-30)

受講対象

地域福祉に関心のある社会福祉従事者(※)で、
次の要件の方

- ①実務経験が3年以上の方
- ②全日程参加できる方

※社会福祉従事者

- ①県内社会福祉協議会の地域担当部・ボランティアセンター職員、日常生活自立支援事業・生活資金貸付事業等の担当職員
- ②地域包括(在宅介護)支援センター・居宅介護支援事業所・障害(児)者の相談支援事業所・児童家庭支援センター・生活困窮者自立相談支援事業所等の相談援助職
- ③生活支援コーディネーター
- ④行政機関(福祉事務所のケースワーカー等)の相談援助職
- ⑤社会福祉施設・事業所(デイサービスなどの通所施設含む)における生活相談員、生活支援員、児童指導員
- ⑥保育所、認定こども園の保育士
- ⑦その他、地域福祉に関心のある社会福祉従事者

定員

50名(原則、先着順)

※申込状況によっては、1施設当たりの参加人数を制限させていただく場合があります。

受講料

16,400円(4回分、テキスト代含む)

申込締切

7月12日(水) 必着

申込方法

- 別紙の「受講申込書」と「事前アンケート」に必要事項をご記入のうえ、郵送によりお申込みください。やむを得ずFAXで申込みの場合は、必ず送信確認の電話をお願いします。
- 締切日以降に受講決定通知を送付します。受講料は、受講決定通知に同封する払込取扱票にて、期限までに郵便局でお支払い願います。

日程

1日目 | 8月1日 (火)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	単元 1 「地域福祉の全体像をつかもう」	1 地域福祉の全体像理解 2 4日間の研修の全体像理解 3 地域福祉における受講者各自の立ち位置の再認識
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 14:00	単元 2 「地域って何？」	1 なぜ地域をみるのかの理解 2 どのように地域をみるのかの理解
14:00 ～ 16:20	単元 3 「その人らしい暮らしと地域Ⅰ」 ※適宜、休憩が入ります	1 当事者（利用者）を多角的にみる16の視点 2 地域住民と一緒に当事者（利用者）を支えるための視点と方法
16:20 ～ 16:30	翌日研修に向けた振り返り・オリエンテーション	
16:30	1日目終了	

2日目 | 8月2日 (水)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	単元 4 「その人らしい暮らしと地域Ⅱ」	1 『ひとりの課題』を『みんなの課題』への視点と地域の基盤づくりとは 2 社会資源と資源開発とは
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 15:30	単元 5 「当事者・地域・専門職が一緒に創る地域福祉とその醍醐味」※適宜、休憩が入ります 【登壇者】 セルフヘルプグループ、地域福祉活動者（調整中）	1 地域福祉の主体とその理解 2 主体間の協働の意義と姿勢
15:30	休憩	
15:45 ～ 16:30	振り返り・まとめ	1 2日間の学びの確認と共有 2 疑問点の明確化とその解消
16:30	2日目終了	

本研修の特徴

- 演習事例を通して理解を深めることができる
一方的な伝達研修ではなく、演習事例をもとに考える、意見を出し合う、情報を整理することを通し、受講者自身の理解が深まります。
- 他職種から学ぶことができる
介護職（ケアワーカー）、相談援助職（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー）、地域担当職（コミュニティワーカー）がそれぞれの立場から意見を出し合い、相互に学びます。
- 物語、事例を通して現場に取り入れるイメージを持つことができる
演習は、事例をベースに作成しています。理論だけでなく、現場で直面するカベの乗り越え方のヒントを含め、研究者と現場ワーカーが講師を務めます。

3日目 | 9月22日(金)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	単元6 「住民主体の地域づくりを支える －地域へのアプローチの基本－」	1 地域へのアプローチ方法（コミュニティワーク）の基本
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 14:15	単元7 「地域向け事業・活動の企画の基本」	1 地域ニーズの把握 2 地域で事業・活動を企画する際のアプローチ方法
14:15	休憩	
14:30 ～ 16:15	単元8 「地域づくり支援のプロセス」	1 プロセス・チャート演習による支援のプロセス理解
16:15	休憩	
16:20 ～ 16:30	次回研修に向けた振り返り・オリエンテーション	
16:30	3日目終了	

4日目 | 10月27日(金)

日時	研修科目	研修内容
10:20	開講／オリエンテーション	
10:30 ～ 12:00	単元9 「地域アプローチの実際～醍醐味・苦労を一緒に感じよう～」 【登壇者】 (調整中)	1 地域への入り方、アプローチのヒント
12:00	昼食休憩	
13:00 ～ 15:30	単元10 「学びを実践へ ～ネットワークと資源開発の力をつける～」 ※適宜、休憩が入ります	1 ネットワークと資源開発の基本の理解 2 4日間の学びを実践に生かすための道筋を考える
15:30	休憩	
15:45 ～ 16:30	振り返り・まとめ	1 4日間の学びの確認と共有 2 疑問点の明確化とその解消
16:30	4日目終了	

昨年度の研修受講者の声

「地域への関わり方ひとつで個別支援のあり方も大きく変わることに驚きました」

「視点が変わる斬新な研修でした！知識だけに留まらず、必ず実践していきたいです」

「こんな楽しい研修ははじめてでした」

「個別支援と地域支援のアプローチの違いに悩んでいました。今回の研修で地域への関わり方のヒントが得られました」

「地域に飛び出す勇気が得られました。地域への関わり方の理解が深まりました」

講師

藤井 博志氏

(関西学院大学 人間福祉学部 教授)

同志社大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程後期修了。博士(社会福祉学)。1981年兵庫県社会福祉協議会勤務。2001年より大阪府立大学社会福祉学部専任講師、2005年より神戸学院大学総合リハビリテーション学部教授、今年度より現職。主な研究テーマは、「日本のコミュニティネットワーク及びそのワーカー養成教育の体系化に関する研究」

所 めぐみ氏

(関西大学 人間健康学部 教授)

同志社大学、同大学院修了後、英国留学、社会福祉法人勤務、龍谷大学講師、佛教大学准教授・同教授を経て、2016年度より現職。

専門は、社会福祉方法論、地域福祉論、福祉教育。社会の現場では、大阪府枚方市や堺市、和歌山県有田市等における地域福祉実践のフィールド研究にとりくんでいる。社会福祉士。

演習指導

足立 里江氏 (朝来市地域包括支援センター 主任介護支援専門員)

井上 義幸氏 (豊岡市社会福祉協議会 地域福祉課 生活支援コーディネーター)

小椋 智子氏 (社会福祉法人ゆたか会小規模多機能型居宅介護事業所所長、兵庫県相談支援ネットワーク理事)

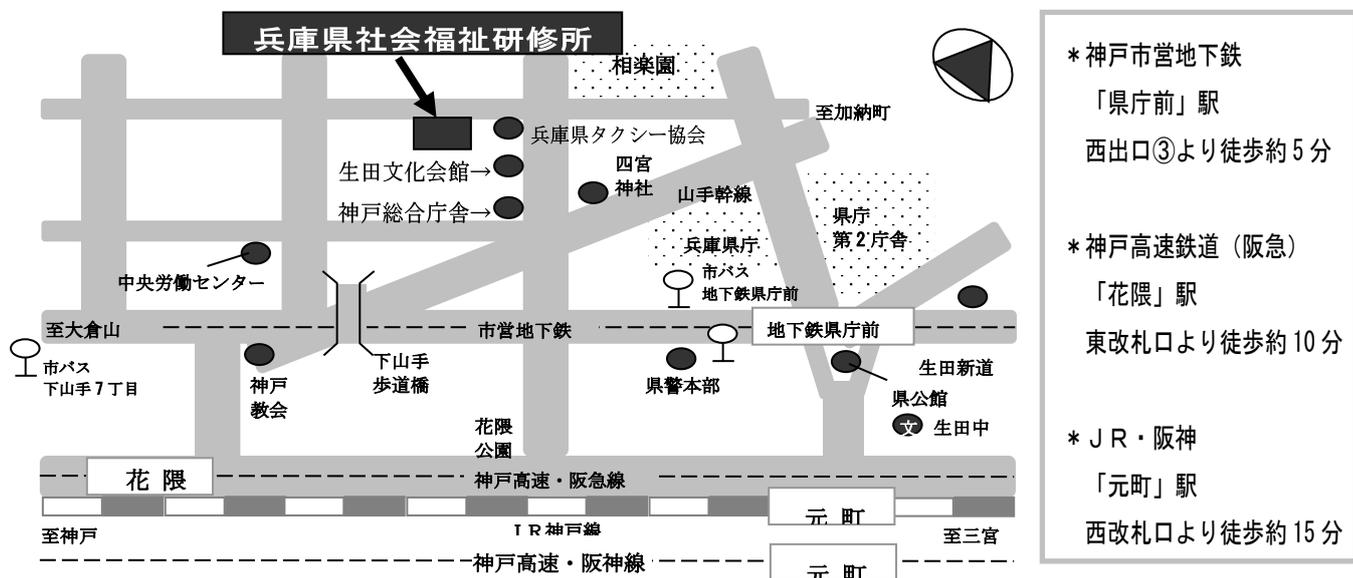
神谷 宣氏 (西宮すなご医療福祉センター 相談支援事業所 相談員)

久山 啓氏 (社会福祉法人 神戸真生塾 子ども家庭支援センター長)

坂本 幸枝氏 (三木市社会福祉協議会 ボランティア活動プラザみき副所長)

永坂 美晴氏 (ライフ明海在宅介護支援センター望海センター長)

研修会場



お申込み・問合せはこちら



078-367-4522

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通 6-1-30



kensyu@hyogo-wel.or.jp

主催：兵庫県社会福祉協議会 社会福祉研修所



078-367-3001



<http://www.hyogo-f-kensyu.jp>

平成 29 年度 地域福祉研修 受講申込書

兵庫県社会福祉協議会
社会福祉研修所長 様

機関・団体名 _____

所属長名 _____ 印

下記のとおり申込みます。

(平成 29 年 6 月 1 日現在)

フリガナ		性別	男・女	年齢層	歳代
氏名					
勤務先 事業所名					
勤務先 所在地	〒	TEL : ()			
		FAX : ()			
		E-mail :			
社会福祉職 場の経験年 数 (通算)	年 カ月				
役職名					
現在の主な 担当業務	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 相談援助職・ソーシャルワーク 2. 地域援助職・コミュニティワーク 3. 介護職・ケアワーク 4. その他 ()				
資格取得 状況	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 社会福祉士 2. 社会福祉主事 3. 介護支援専門員 4. 精神保健福祉士 5. 相談支援専門員 6. 介護福祉士 7. 看護師・保健師 8. その他 () 9. 特になし				
勤務先種別	※あてはまるものに○を入れてください。 1. 社会福祉協議会 2. 地域包括 (在宅介護) 支援センター 3. 居宅介護支援事業所 4. 障害 (児) 者の相談支援事業所 5. 児童家庭支援センター 6. 生活困窮者自立相談支援事業所 7. 行政機関 8. 社会福祉施設 (施設種別) 9. 保育園・認定こども園 10. その他 ()				
備考					

《ご記入に際しての注意事項》

- * 該当する事項に記入または番号に○をつけてください。
- * 事前アンケートとともに、受講申込をしてください。
- * 2名以上お申込みの場合は、本申込書をコピーいただき、1人につき1枚ご記入ください。

※個人情報保護法に基づく取り扱い
 (1) 「受講申込書」に記載された個人情報は、本研修業務の運営以外の目的に使用することはない、また、その管理については、兵庫県社会福祉協議会「個人情報保護規程」に基づき適正に行い、無断で第三者に提供することはありません。
 (2) 演習等の活用及び受講者相互の情報交換、交流を円滑に行うことを目的として、氏名、所属名 (事業所名)、勤務先種別を記載した「受講者名簿」を作成し、当日受講者に配付します。

申込締切 : 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 必着

平成 29 年度 地域福祉研修 事前アンケート

機関・団体名 ()

氏 名 ()

- 標記研修の事前アンケートとして、受講希望者は次の内容にお答えいただき、受講申込書とともにご送付ください(なお、同アンケートは1部コピーのうえ受講者がお持ちください)。
- 本アンケートは、次の3点を目的としています。

- ①ご自身の研修受講目的を明確にさせていただくことで、研修効果を高めます。
- ②事務局・講師陣で共有し、本研修のプログラム運営に反映にします。
- ③研修実施後のアンケートと比較して研修効果を検証し、より良い研修につなげます。

設問 1 | 本研修の受講動機は何ですか。一番近いもの1つに○を入れてください。

1. 今回の研修テーマは直接業務に関係がないが、職場からの指示で受講する。
2. 今回の研修テーマは直接業務に関係がないが、関心があるので受講する。
3. 地域と連携した利用者支援や地域へのアプローチが自分の業務に含まれるが、方法がわからず着手できていないので受講する。
4. 地域と連携した利用者支援や地域へのアプローチを実践しているが、悩みや課題があるので受講する。

設問 2 | あなたの日ごろの業務の中で、地域住民との連携・協働はどの程度ありますか。もっとも近いものに1つ○を入れてください。

1. まったくない
2. ケースによっては連携・協働している
3. ケースがある・ないに関わらず、地域の馴染みの住民とのやり取りがある
4. ケースがある・ないに関わらず、地域課題を一緒に解決するために動いている
5. その他()

設問 3 | あなたが、地域住民との連携・協働を進めていく上で、「壁」(=課題)と感じておられることは何ですか。箇条書きで記載ください。

- アンケート記載内容は、研修の実施及び評価以外には一切使用いたしません。
- 研修と評価で使用する際も個人名は公表しません